

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 25 日作成)

委員会名	SRC 造配筋指針改定小委員会	主 査 名：三谷 勲
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	委員長名：西川幸夫 主 査 名：三谷 勲
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本委員会は 1994 年制定の鉄骨鉄筋コンクリート造配筋指針(案)・同解説の改定を目的に設置された WG をうけて、本格的な改定作業にはいるため 2002 年 4 月に設置された。本年度は、最新の研究成果を取り入れ、また単位系を SI 単位に変更する改定原稿を完成させた。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：三谷勲(神戸大学) 幹事：坂口昇(ものづくり大学) 深沢協三(日本建設業経営協会) 委員：東知宏(間組) 市田幹郎(佐藤総合計画) 小野里憲一(工学院大学) 毛井崇博(竹中工務店)、清水弥一(KS 設計)、称原良一(清水建設)、竹村寛恭(大成建設)、谷田雅廣(大林組) 筒井茂行(日本設計) 西村泰志(大阪工業大学) 林博之(日建設計) 益尾潔(日本建築総合試験所)、協力委員 南宏一(福山大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	SRC 造配筋指針付録編集 WG： SRC 造配筋指針・付録の改定および SI 単位系への変更。	
2004 年度予算	300,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	原稿完成に向けて小委員会および幹事会(編集委員会)を 5 回開催し 通信会議を適宜開催した。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 最新の研究成果を取り入れ、SI 単位系へ変換を図った改訂原稿を完成させた。鋼コンクリート合成構造運営委員会及び構造委員会の査読を完了し、2005 年 1 月に原稿を学会(編集部)へ提出し、指針の出版準備中である。 また、小委員会議事録、指針の構成・改訂方針等を学会ホームページ内の鋼コンクリート合成構造委員会のページで公開している
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 今年度当初の計画通り原稿を完成させ、査読も完了することが出来た。
その他評価すべき事項	